

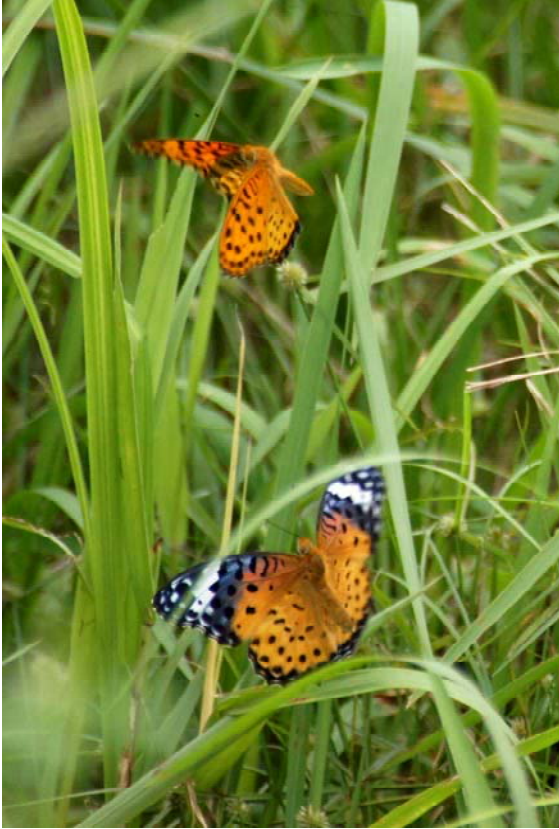
牛久：学校周辺に見る自然

第29号 みずべ公園(ひたち野うしく小)

2016年10月16日発行

＜ 動物のすみか ～ ⑤ さなぎや卵、その他の形で冬を越すチョウたち ＞

こんにちは。9/27, 10/4にひたち野うしく小3年生と歩いたみずべ公園、今回はさなぎや卵、その他の形で冬を越すチョウたちを紹介しましょう。



幼虫または蛹で越冬するツマグロヒョウモン(左上)。蛹越冬のクロアゲハ(右上)。成虫または幼虫で越冬するヒメアカタテハ(右下)。どれでか決まてないウラナミシジミ(左下)。

アゲハチョウ科の仲間のほとんどは、さなぎで冬を越すそうです。また、モンシロチョウなどシロチョウ科はさなぎや成虫で、イチモンジセセリなどセセリチョウ科は幼虫でなど、なかまによってどの形で越冬するか、その割合に特ちょうがあるようです。それらの生活や繁殖の仕方などとは何か関係があるのでしょうか？ いくつかの形で越冬するもの、まだよく分かってないものなどもあるようで、これも調べてみるとおもしろそうです。ただし成虫ならともかく、卵やさなぎを見つけるのは難しそうですし、幼虫も育ててみないとどのチョウの子なのか分からないかもしれませんね。【理科支援員：宮内】